

(平成 29 年 5 月試験研究業務月報)

試験研究課題：ICT を活用した京都オリジナル生産技術の開発

研 究

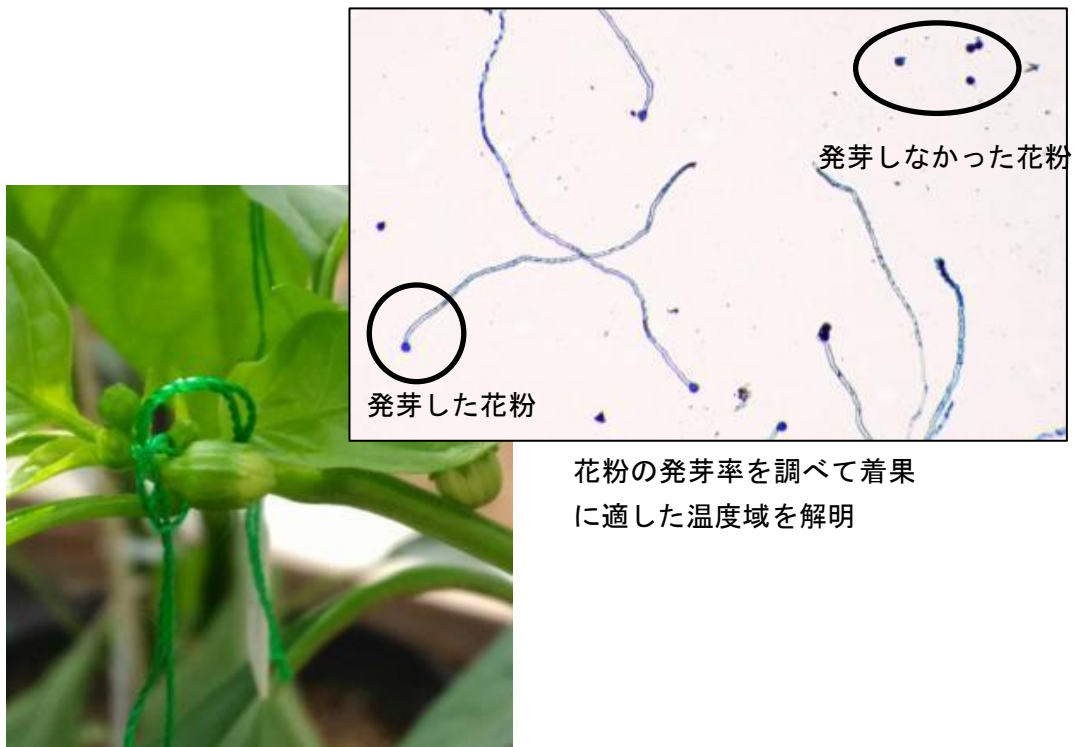
## 万願寺トウガラシの着果に適した温度域の解明

府内の万願寺トウガラシ栽培は、新規栽培者の参入が進んでいますが、ハウス栽培では温度管理が難しいため、収量は篤農家\*の 6~7 割程度に留まっています。

そこで、当センターでは、生産者、JA の協力を得て、昨年度から篤農家の温度管理技術を ICT で「見える化」する研究を進めています。

その一環として、当センター内で万願寺トウガラシに対して、高温から低温の様々な温度処理を行い、着果率、変形果の発生、およびこれに関係する花粉の発芽率（受精率の指標）などを観察しています。今後、万願寺トウガラシの着果に適した温度域を明らかにし、現地で利用できる温度管理指標を作成します。

※ 篤農家…すぐれた技術を持った農家



蕾にラベルをつけて着果率、変形果の発生を観察

花粉の発芽率を調べて着果  
に適した温度域を解明